

第2回和歌山県災害対策本部会議 議事概要

日時：令和7年7月30日（水） 18時35分～18時57分

場所：県庁南別館2階 災害対策本部会議室

出席者：宮崎本部長、友井副本部長、中村副本部長、各本部員等、和歌山地方気象台、
J R西日本和歌山支社

事務局（危機管理消防課長）

第2回災害対策本部会議をこれから開催させていただきます。

開催に当たり、一点新たに入った情報がございますので、ご報告させていただきます。18時30分に本県での津波警報が津波注意報に切り替わったとの情報がございますので、ここでご報告させていただきます。それでは本部会議を進めさせていただきます。

本会議の議事進行については、本部長である知事をお願いします。

宮崎本部長（知事）

注意報に下がったという情報が入ってきたわけですが、現在までの全般の状況報告の説明をお願いします。

中村副本部長（危機管理部長）

まず気象台からお願いします。

和歌山地方気象台

さきほど、18時30分、和歌山県に出されていた津波警報は津波注意報にダウンしました。

資料は津波警報を前提に作っているので、少し流しながら説明します。

資料1枚目、これは18時30分までの状況です。現在はこの状況ではありません。

資料2枚目、これも18時30分までの状況です。

次に、これまでの観測状況です。この資料が更新されていて、上から那智勝浦町が0.3m、白浜は0.2mとありますが、0.4mに上がっています。

和歌山は観測中、あと串本町は0.3mのままです。ここにはないが、御坊市0.4mというような状況です。

次に、これは津波波形、各地の津波の様子ですが、説明を割愛させていただきます。

次に、地震の状況としては、マグニチュード8.7、カムチャッカ半島付近で起きた地震によって津波が発生したというところです。

次に、防災上の留意事項については、現在、注意報ですので、海の中に入っている方はいないとは思いますが、直ちに海から上がって、海岸には近づかないってことをお願いします。

中村副本部長

それでは引き続きまして、県内の被害状況を危機管理局長からお願いします。

危機管理局長

津波警報に伴う被害状況等について第2報、17時30分現在の情報です。

人的物的被害の状況はありません。

避難指示等の状況ですが、レベル4の避難指示、19市町村が発令しています。

9時40分から県で災害対策本部非常対策1号を発令しました。

17時30分現在、8市町で災害対策本部が設置されている状況です。

津波観測に関する情報ということで、本日の17時46分現在の観測値をお知らせしたものです。次のページですが、先ほど気象台の方からも説明がありましたが、白浜町堅田と御坊市祓井戸で40センチというような状況です。

続いて、交通情報の一覧ですが、今現在、JR和歌山線は15時55分に運転再開、阪和線も15時39分に運転再開というような状況になっています。

南海は、南海線加太線は全線見合わせの状況です。

それから和歌山電鐵全線見合わせ、紀州鉄道も10時15分から運休しています。

バスの状況ですが、全線運休の状況です。

それから南海フェリーの状況についてですが、8便のうち下りは運休、上りは未定というような状況です。

避難指示発令状況、実避難者の一覧についてです。19市町に発令されていて、17時30分現在で、避難所の開設数が合計で265、18市町で開設されています。実避難者数は15市町で3078人です。

中村副本部長（危機管理部長）

引き続きまして県庁各部局の取組状況について、まず危機管理部から説明し、その後は建制順に各部で説明をお願いします。

危機管理局長

お配りしている地震概要と県の対応という資料をご覧ください。

1枚目の地震の概要と県の対応については、繰り返しになるので、割愛させていただきます。

次のページです。各部の取組状況ですが、県災害対策本部支部を立ち上げて活動しています。

危機管理部の取組状況ですが、まず関係機関、気象庁等からの情報収集ということで、気象庁からの地震情報の収集、それから災害派遣要請先である陸上自衛隊第37普通科連隊、海上保安庁、警察とライフラインであるJR西日本などからリエゾンを派遣いただくなど、常に情報を共有しています。

続いて、災害対策本部の会議の開催で、県民への呼びかけ、知事のメッセージの中で、SNS、防災わかやまメール等を通じまして県民への呼びかけ、知事のメッセージの発信をしています。

続いて、報道取材への対応、各部取組状況等の取りまとめを行っています。

中村副本部長（危機管理部長）

引き続いて知事室部をお願いします。

知事室

知事室の取組状況です。危機管理部と重なりますが、県民への呼びかけとして、県の SNS、それから県のホームページで情報発信をしています。

併せて、県民に対する注意喚起として、知事メッセージを県のホームページで発信したところです。

中村副本部長（危機管理部長）

引き続いて総務部をお願いします。

総務部

総務部です。被災者避難先としての職員住宅の空き戸数を確認しました。また、税務課分室の窓口業務を中断しました。

中村副本部長（危機管理部長）

次に企画部をお願いします。

企画部

私立学校等に対する注意喚起を実施しました。被害情報はありません。

スポーツ大会の主催団体への注意喚起を実施しました。

外国人サポートメールの臨時配信を行い、津波浸水想定区域内にある所管施設については、避難を指示しました。

中村副本部長（危機管理部長）

次に地域振興部をお願いします。

地域振興部

交通観光の関係団体の方に情報収集を行っています。

交通関係については、先ほど危機管理部から説明があったので、割愛させていただきます。

観光の情報については、テレビ等で流れているところですが、和歌山市、西牟婁、東牟婁の海水浴場が閉鎖されています。

西牟婁地域ですが、アドベンチャーワールドは標高も高く、60m 以上あるため通常通り営業、エネルギーランドは避難指示命令によって営業休止ということで伺っています。

東牟婁地域ですが、観光案内所の閉鎖や町営バスやコミュニティバスが運休ということで伺っています。那智勝浦町では、沿岸近くの観光施設、道の駅やにぎわい市場が臨時休業となっています。

最後に一点。通信事業者 9 社に対し、被害が生じた場合の報告を要請をしています。被害報告はありません。

中村副本部長（危機管理部長）

続いて環境生活部お願いします。

環境生活部

水道や廃棄物を所管する市町村、それから災害ボランティアセンター、災害協定を締結している団体などに緊急時の連絡体制、発災時の対応等を確認しました。

また動物愛護センターに動物救援本部を立ち上げて、県の獣医師会など構成員に情報共有しています。

発災後、各種の相談が多くなることから県民相談窓口の立ち上げ準備を行いました。

中村副本部長（危機管理部長）

続いて共生社会推進部お願いします。

共生社会推進部

所管施設、保育所、また児童福祉施設等の避難・被害状況等を確認しました。特に被害等の報告はありません。

それから、中央・紀南児童相談所については、来所相談等は警報に伴い延期しています。潮岬青少年の家ですが、警報が出たため、当初帰る予定だった団体等が一部足止めとなりましたが、注意報に切り替わったことで、順次退所される予定です。

中村副本部長（危機管理部長）

続いて福祉保健部お願いします。

福祉保健部

県内の高齢者施設、障害児者施設、病院及び有床診療所の避難・被害状況を確認したところ、特に被害報告はありません。

加えて特に高齢者、障害者施設については、避難先での熱中症対策を県から呼びかけました。

次に仮に発災した場合に備え、迅速に災害備蓄物資の提供ができるよう各振興局健康福祉部に備蓄状況の点検確認を依頼しました。

新宮保健所串本支所の窓口業務は一時中断しました。

あと和歌山市毛見にある障害児者サポートセンターを一時閉鎖し、プールや体育館の施設の貸出を中止しました。

中村副本部長（危機管理部長）

続いて商工労働部お願いします。

商工労働部

引き続き、商工会、業界団体、金融機関、流通業等、商工関係団体から対応状況について

情報収集しています。

情報収集をした中で、多くの組織が臨時休業や垂直避難等の対応を取っています。

中村副本部長（危機管理部長）

続いて農林水産部お願いします。

農林水産部

水産関係ですが、漁協、漁業者、また遊漁船の事業者避難に関する注意喚起を行うとともに、情報収集を行っています。

災害救助用の食料である、お米ですが、在庫確認を行うとともに、精米の供給に関する協定を県内 3 事業者と結んでいるので、その協定内容について事業者と確認を行い、今後の対応に関する打ち合わせをしているところです。

中村副本部長（危機管理部長）

続いて県土整備部お願いします。

県土整備部

第 1 回からのアップデートベースですが、水門、樋門陸閘について、一部、安全確保の観点から困難なものを除き、閉鎖しました。全部で 219 あるが、そのうち 17 を除き閉鎖を終えています。

排水ポンプと道路情報は第 1 回から状況は変わっていません。

クルーズ船の飛鳥Ⅱですが、今日は寄港せず、まだ沖合待機を続けています。注意報が解除されれば、明朝、日高港に寄港できないか調整をしていると伺っています。

また、河川も含めて沿岸部の実施中の工事を休止し、建設建築関係の関係団体と今後の対応を協議する打ち合わせをしているところです。

中村副本部長（危機管理部長）

続いて教育部お願いします。

教育部

沿岸部にある県立学校及び市町村教育委員会に対して、被害状況等を確認するとともに、児童生徒の安全確保の指示を行いました。

中村副本部長（危機管理部長）

続いて関係機関の状況について、危機管理局長からお願いします。

危機管理局長

関係機関、実働部隊の状況について、17 時 45 分現在の状況です。

まず自衛隊第 37 普通科連隊が派遣準備完了して待機していただいています。

警察については機動隊、それから管区機動隊それぞれ出動待機中であるとともにヘリで

情報収集を行っていただきました。

それから消防ですが、11 の消防本部が職員の招集等を行い、沿岸部の巡視や広報活動を行っています。

併せて、国交省ヘリ、海保ヘリについてもそれぞれ情報収集を行っていただきました。

中村副本部長（危機管理部長）

資料は以上ですが、本日、自衛隊等防災関係機関の皆様方ご参加いただいています。

もし何かご発言等がございましたら、いかがでしょうか。

警察本部

警察本部です。警察では、午前 9 時 40 分、津波警報発令と同時に災害警備対策本部を立ち上げて、沿岸部の住民等の避難誘導、避難広報、警戒活動などを実施しています。

現状、津波警報発令に伴うけが人や事故等の発生は確認していません。

なお、先ほど危機管理局長から説明のあった機動隊については、現在も和歌山市及び田辺警察署管内で待機中です。追加で警察学校に一時 200 名ほどの避難者がいましたが、現在は 0 人です。

併せて、県内では交通規制等は実施していません。

中村副本部長（危機管理部長）

一番の議題については特に何かご意見、ご質問ございませんでしょうか。

中村副本部長（危機管理部長）

引き続いて、第 2 の議題として、本部長からの指示について、知事から発言をお願いします。

本部長（知事）

第 1 回の会議で本部長代理から、伝えたとおりですが、

関係機関等に対し避難の徹底を働きかけること。

情報収集をしっかりと行うこと。

浸水域内の施設に勤務する職員体制をしっかりとすること。

被害が出た場合には、速やかに各部所管の施設等の被害等を報告すること。

特に振興局は、市町村の支援に万全を期していただきたい。

以上のことに引き続き、注力すること。注意報に格下げされたが、まだ被害状況が出てきていないので引き続き、しっかりと対応するようにお願いします。

また、避難者の方々について、まさに熱中症対策などを留意していただくようお願いします。

注意報になったが、津波は繰り返しやってくるので、第一波の大きさにとらわれることなく、引き続き注意していただきますようお願いいたします。

県民の皆様にも引き続き、市町村から発令される避難指示に従うなど、避難行動をとるようお願いいたします。とにかく市町村の指示に従っていただきますようお願いいたします。

中村副本部長（危機管理部長）

今、本部長から指示があったので、皆様方よろしくお願いします。

最後、その他ということですが、冒頭説明したように、18時30分に津波警報から津波注意報に切り替わったため、体制を警戒体制に戻します。

他、ご発言ございませんでしょうか。

JR 西日本和歌山支社

注意報になったということで、紀勢線、きのくに線、和歌山市駅から和歌山新宮間ですが運転再開の準備を進めていきます。乗務員も一部避難をしていた者もいるため、安全確認が必要になるので、今しばらく動き出すまでに時間がかかるかと思います。ご迷惑をおかけします。

中村副本部長（危機管理部長）

ありがとうございます。他、特にございませんでしょうか。

事務局（危機管理消防課長）

以上をもちまして、第2回災害対策本部会議を終了します。